

平成24年度「特別支援教育総合推進事業（特別支援学校と小・中学校との交流及び共同学習の推進）」報告書

|        |                 |
|--------|-----------------|
| 団体名    | 愛知県教育委員会特別支援教育課 |
| 研究開始年度 | 平成23年度          |

## I 概要

### 1 指定校の一覧

| 特別支援学校 |                                      | 交流及び共同学習の相手先となる小・中学校 |                                  |
|--------|--------------------------------------|----------------------|----------------------------------|
| 設置者    | 学校名（ふりがなを付すこと）                       | 設置者                  | 学校名（ふりがなを付すこと）                   |
| 愛知県    | 愛知県立ひいらぎ養護学校<br>(あいちけんりつひいらぎようごがっこう) | 半田市                  | 半田市立半田小学校<br>(はんだしりつはんだしょうがっこう)  |
|        |                                      |                      | 半田市立さくら小学校<br>(はんだしりつさくらしょうがっこう) |
|        |                                      |                      | 半田市立横川小学校<br>(はんだしりつよこがわしょうがっこう) |
|        |                                      |                      | 半田市立宮池小学校<br>(はんだしりつみやいけしょうがっこう) |

### 2 研究テーマ

交流及び共同学習の推進とスクールクラスター（地域の教育資源の効果的な組合せ）の在り方について

### 3 研究の概要

(研究内容)

(1) 持続可能な交流及び共同学習を推進するためのシステムの構築

ア 「居住地校における交流及び共同学習推進会議」の設置

イ 交流及び共同学習の内容・方法の検討

- ・対象となる児童の実態把握
- ・授業内容の検討
- ・教材開発
- ・教育委員会との連携体制の検討

ウ 授業を共に創りあげるシステムの構築

エ 交流及び共同学習の評価の検討

- ・授業評価、両校児童の変容

- ・居住地校における交流及び共同学習の定着
- (2) 交流及び共同学習の教育課程への位置付け
  - ア 教育課程の見直し
  - イ 両校の授業計画、日程の調整
  - ウ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成
- (3) 地域の教育資源の有効な活用
  - ア 児童の実態把握
  - イ 通常の学級、特別支援学校などの教育的支援の有効な組合せ
  - ウ 教育資源としての特別支援学校職員の活用（事前学習の実施）
  - エ 県教育委員会と市町村教育委員会の連携の円滑化を図るための仕組みづくり
- (4) 研究成果の発信
  - 「居住地校における交流及び共同学習」の実践を報告書にまとめ、関係機関に配付（評価の観点及び評価方法）
  - (1) 授業観察、本人評価、教員評価、保護者評価を基にした授業分析
  - (2) PDCAサイクルによる個別の教育支援計画、個別の指導計画の評価

#### 4 研究成果の概要

「居住地校における交流及び共同学習推進会議（以下、「推進会議」という。）」の設置や「交流及び共同学習授業実施シート」を活用した両校教員間の打合せを行うことで、組織的、計画的に交流及び共同学習を実施することができた。これにより、各児童の実態に合わせた形で教科による交流及び共同学習が実施でき、両校の児童が成長する姿を認めることができた。

居住地校では、各校の実情に合わせてホームページや学年便り等で交流及び共同学習の様子を伝え、特別支援学校はリーフレットを作成して居住地校の保護者へ配付し、居住地校の保護者の交流及び共同学習への理解を深めることができた。

スクールクラスター（地域の教育資源の効果的な組合せ）を進める上で、県と市の教育委員会担当者、各校担当者が一堂に会して行った推進会議は一定の役割を果たすことができた。